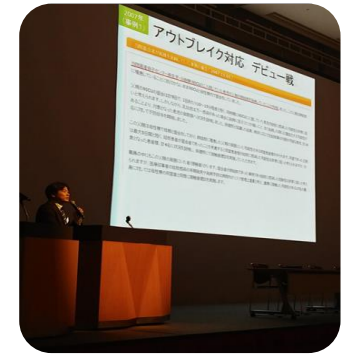


日本感染管理ベストプラクティス“Saizen”研究会 第13回セミナー レポート

平成30年5月12日(土)に1000名を超える参加者の中、パネルディスカッション、講演、60の演題発表がプログラムされ、盛大なセミナーが開催されました。



パネルディスカッションでは、『アウトブレイクすると大変な感染症Ⅲ』について、感染力の強いインフルエンザやノロウイルス、そして感染拡大すると厄介な疥癬について、7名の方からのお話でした。実際の経験からその対策など具体的な内容でした。

午前中の特別講演では、兵庫医科大学歯科口腔外科学講座岸本裕充先生による『感染管理に役立つ口腔ケア・オーラルマネジメント』についてのご講演でした。オーラルケアマネジメントの構成要素である“CREATE”についてのお話でした。

午後からのポスター発表会場の風景です。みなさん、自施設での取り組みとその評価について発表されており、傍聴者の方々も熱心に傾聴していました。



製品展示

午後からの教育講演では、土井英史先生から『感染管理ベストプラクティスを維持・推進の為の“働き方改革”への提言～やるべきことの為に“建設的撤退”を真剣に考えよう！～』についてのご講演でした。海外の情報を交え、いつものように楽しく、実用的な内容でした。

教育講演2では、三重大学医学部附属病院感染制御部田辺正樹先生からの『多剤耐性菌アウトブレイク事例への対応』についてのご講演でした。

いつ起こるかもしれないアウトブレイク…感染予防と拡大防止への職員の理解と実践、地域連携の必要性を改めて感じました。